

牛久市文化財保護審議委員 栗原 功

小川芋銭の句碑(銚子市・牛久市)と歌碑(福島市)②

歌碑・河童の碑建碑

建碑者は福島市在
住の池田龍一氏ら

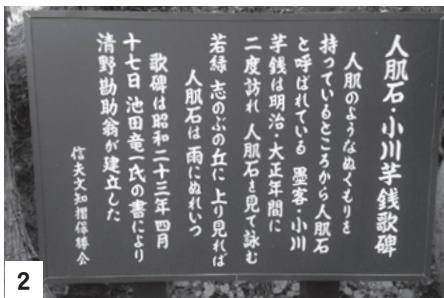
小川芋銭の歌碑は、福島県福島市山口の文知摺観音境内の後丘に建っている。

建碑したのは、福島市在住の池田龍一氏と清野勘助翁である。

池田龍一は、明治23年(1890年)の生まれで、京都帝国大学医学部大学院(現京都大学)を卒業後、大正9年(1920年)に三郡共立福島病院に小児科部長として迎えられた。以来、小児科の池田先生として親しまれていたが、その一方で異色の文人医師とも称されていた。その池田は昭和44年(1969年)に福島市内で病没した。池田は、『書道界で研究の対象として特筆される良寛(※)』の書に学び、



1 小川芋銭歌碑
『若緑志のぶの丘に上り見れば
人肌石は雨にぬれいつ』



2 小川芋銭歌碑
現地の説明板
所在地・文知摺観音境内(福島市山口)
写真提供・安洞院

絵は芋銭の作品に傾倒し、短歌もよくした。ことに、芋銭の人となり、芋銭の芸術全般に深く心酔し、芋銭顕彰にも努め、また芋銭作品の鑑定者としても著名であった。

※良寛は、江戸幕府・徳川第9代將軍家重治世下の宝暦8年(1758年)に越後国(現新潟県)で生まれ、18歳で出家した曹洞宗の僧侶。当時儒者

池田龍一の子孫の方が寄贈
作品など25点
池田龍一の子孫の方より、芋銭の絵画及び資料など25点を寄贈していただいた。

で名筆の亀田鵬齋が、越後で良寛の書を見ておどろき、『良寛老師の書は神品である。自分は半日おそわつたが、これ以来自分の書は一変した』と語った。

松尾芭蕉や正岡子規など多くの文人が句をのこしている。池田は、昭和27年(1952年)に建てられた芋銭を顕彰する『河童の碑』建立にも尽力し、河童の碑は池田龍一なくして建つことはなかったと伝えられている。

広報うしく11月1日号コーナーにおいて、表記に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

- 【1段目】13行目 **訂正箇所** 天皇陛下がお生まれになられた時も
正しくは 天皇陛下(当時は皇太子殿下)がお生まれになられた時も
16行目 **訂正箇所** 大海を跳びいつる如と初日の出
正しくは 大海を跳びいつる如初日の出
- 【2段目】1行目 **訂正箇所** 「野口雨情が『小川芋銭先生は絵を描く芭蕉』と称えた」
正しくは 「酒井三良が『小川芋銭先生は絵を描く芭蕉』と称えた」

「一方、芋銭の画風を継承した酒井三良の場合は、『……小川芋銭先生は松尾芭蕉に深く傾倒されていたようですね。作品も芭蕉の句が一番多く描かれています。“絵を描いた芭蕉”と見ることができると思います』と回想している。」

(引用資料は「広報うしく」昭和62年12月1日号 栗原功著「小川芋銭伝(四)」)